

ほけんだより 1月号



茂木小学校
保健室
2017.1
NO.9

1月の保健目標

外で元気に遊ぼう

♪ほけんだよりは、家の人と一緒に読みましょう。

冬休みが明け、1週間がたちました。そろそろ生活のリズムは整ってきた頃でしょうか。今年度は、インフルエンザA型の流行が早く、茂木小でも2学期のうちに多くの児童が感染しました。1月下旬頃からはインフルエンザB型の発生も予想されま。引き続き、感染症予防に努めていきましょう。

3学期の身体計測結果(学年・男女別平均値)

身長	男子			女子		
	4月	1月	伸び	4月	1月	伸び
1年	116.7	119.4	2.7	117.1	118.9	1.8
2年	122.5	124.9	2.4	121.5	124.3	2.8
3年	128.7	131.5	2.8	127.4	129.4	2.0
4年	132.8	135.1	2.3	132.7	135.6	2.9
5年	140.7	143.3	2.6	140.1	142.7	2.6
6年	143.7	147.0	3.3	145.6	148.4	2.8

今年度、3回目の身体計測を行いました。これらの結果は、あくまでも平均値であり、成長には個人差があります。目安としてご覧ください。



体重	男子			女子		
	4月	1月	増	4月	1月	増
1年	21.4	22.9	1.5	22.4	23.1	0.7
2年	24.3	25.5	1.2	24.7	26.4	1.7
3年	29.5	31.4	1.9	28.0	29.5	1.5
4年	32.2	33.6	1.4	28.7	30.7	2.0
5年	38.9	40.6	1.7	35.1	36.8	1.7
6年	38.3	40.6	2.3	40.9	42.4	1.5

成長曲線について

先週、身体計測の結果と合わせて成長曲線の記録を配りました。

成長曲線は、成長期における身長や体重がどのように増加していくのか、個々の身長・体重の伸び方や増え方をグラフで表したものです。この成長曲線基準図には3、10、25、50、75、90、97の数字がついた基準線があります。この数字はパーセンタイル(百分位)といいます。分かりやすく説明すれば、3パーセンタイルの線は100人中前から3番目、50パーセンタイルは前から50番目に当る子どもの身長や体重の増え方を示しているのです。3から97パーセンタイルの間を正常範囲としています。しかし、3から97の範囲からはずれたからといって病的という訳ではなく、身長、あるいは体重の成長曲線が、これらの基準線に沿っていれば適正であり、これらが基準線をまたいで上向き、あるいは下向きになった場合に病的原因があると考えます。また、-2.5SD(標準偏差)の基準線は極端な低身長の上限を示すものです。(日本学校保健会HPより引用)

ご不明な点がございましたら保健室までお問合せください。

